



第56回日本形成外科学会総会・学術集会

ランチオンセミナー8

4.4 Thu.

12:10~13:10

第3会場 京王プラザホテル
コンコードボールルームC

CO₂フラクショナルレーザーの進化
~より浅く、より深く~

加王 文祥先生

昭和大学豊洲クリニック美容・形成外科 准教授

ENCOREを用いた瘢痕治療の新展開
~SCAAR FXの使用経験~

竹本 剛司先生

市立岸和田市民病院形成外科部長

アクネスカーは
どのように改善してゆくか!?
~5年間のフォローによる

プロトコルの確立~

岩城 佳津美先生

いわきクリニック形成外科・皮フ科院長

司会 中西 秀樹先生 (徳島大学医学部形成外科教授)

「CO₂フラクショナル、
瘢痕治療への挑戦」
第3章 SCAAR FX

共催： 第56回日本形成外科学会総会・学術集会
株式会社 日本ルミナス

※ランチオンセミナーは整理券が必要です

「CO₂フラクショナル、瘢痕治療への挑戦 ～第3章 SCAAR FX～」



司会 中西 秀樹 先生
(徳島大学医学部形成外科 教授)

CO₂フラクショナルレーザーの進化 ～より浅く、より深く～ 加王 文祥先生 (昭和大学豊洲クリニック美容・形成外科 准教授)

「きずあと」をなくしたい、というのは外科的処置を受けた全ての患者の願いである。この願いに対してCO₂フラクショナルレーザーが非常に有効であり、一つの解決策であることを今までの本セミナーで示してきた。と同時にレーザーの深達度により治療できる範囲に限界があることもわかってきた。

そこで今回はこの限界を超えるために、従来比3倍の照射エネルギーを出力できるように改良されたウルトラパルス炭酸ガスレーザーENCOREを用いて、より深い肥厚性瘢痕、より厚みのあるケロイドの治療にさらなる効果が得られたことを報告する。

さらに平坦化した瘢痕に、逆に今までよりも弱く、より浅い範囲にのみCO₂フラクショナルレーザーを照射することで、少なくとも肉眼的に「きずあと」がなくなった状態にまで改善できたので併せて報告する。



ENCOREを用いた瘢痕治療の新展開 ～SCAAR FXの使用経験～ 竹本 剛司先生 (市立岸和田市民病院形成外科部長)

これまで、ウルトラパルス炭酸ガスレーザーENCOREの、スポットサイズ0.12mm、最大出力50mJ/パルスのフラクショナル照射が可能であるDeep FXモードを用いて、肥厚性瘢痕、ケロイドを含む各種の瘢痕治療を行ってきた。成熟瘢痕や軽度の肥厚性瘢痕などには、繰り返し照射することで一定の治療効果が得られた一方、比較的厚みのある肥厚性瘢痕や広範囲に及ぶ瘢痕に対しては、治療回数が多かったり、十分な治療効果が得られなかった症例もあった。今回、SCAAR FXモードの開発により、最大出力が150mJ/パルスに高められたことで、Deep FXよりもさらに深いフラクショナル照射が可能になった。その結果、より厚みのある瘢痕や広範囲の瘢痕における治療効果の増大と、治療期間の短縮が可能になった。当施設でSCAAR FXを用いて治療した肥厚性瘢痕の症例を供覧し、Deep FX症例とも比較して報告する。



アクネスカーはどのように改善してゆくか!? ～5年間のフォローによるプロトコルの確立～ 岩城 佳津美先生 (いわきクリニック形成外科・皮フ科 院長)

2008年から5年間、アクネスカーに対するブリッジセラピー(Ablative Fractional Resurfacing)を約300症例経験した。内、最終照射より1年以上経過観察が可能であった41症例に対し、1)患者が満足するのに要した治療回数、2)アクネスカーがどの程度改善すれば患者が満足するのか、3)最も効果的と思われる照射プロトコルおよび治療間隔、4)アクネスカーはどのように改善してゆくのか、5)効果は長期間維持できるのか、について分析をおこなった。その結果と得られた知見を報告する。

